

2020年
本庄軽 ONE 学耐シリーズ
規則書

本庄サーキット事務局

2020年 本庄軽 one 学耐シリーズ 開催規則書

本庄軽 One 学耐シリーズは、本開催規約及び特別規則に従って開催される。

すべての参加者は諸規則を熟読、精通し遵守するとともに

オフィシャルの指示に従う義務を負うものとする。

【1】主催・開催場所・申込・お問合せ先

〒367 - 0224 埼玉県本庄市児玉町高柳 883 本庄サーキット 本庄軽耐久レース運営委員会

TEL:0495 - 72 - 9611 / FAX:0495 - 72 - 9612

【2】レース種別及び開催日

R d . 1 2月29日(土) / R d . 2 日程調整中 / R d . 3 日程調整中

5時間耐久クラス

【3】エントリーフィー

専門及び大学生 ¥38,000 / 1チーム (保険料別途¥500 / 1名) 税込

※保険は参加選手及びピットクルーの方も加入義務があります。

参加ドライバーの3分の2以上が学生で、エントリー名には学校名を記載することとする。

【4】参加資格

普通自動車免許証の所持者及び、**本庄サーキットのビジターライセンスもしくはメンバーライセンス所有者。ライセンスの取得は本庄サーキットフリー走行日の朝8:00もしくは昼12:00の講習を受講してください。また、エントリー完了後、大会当日までの本庄サーキットのフリー走行日に講習を受講したドライバーに関しては新規入会者に限りビジターライセンス入会費用3,500円を免除とし、メンバーライセンス入会の場合3,500円引きとする。**

※ライセンス更新及び期限切れ再講習に関しては、ライセンス代免除とはなりませんのでご注意ください。

20歳未満のドライバーが参加する場合、

親権者の署名・捺印(実印)のある未成年者 競技参加承諾書を添えてお申込みください。

【5】募集台数・参加人数

募集台数 - 25台 (先着)

耐久クラスのドライバーは参加車両1台につき2名からとし、ピットクルー及びドライバー含め4名以上での参加が必須とする。同一ドライバーの他車へのダブルエントリーは認めない。

【6】参加受付

各大会1ヶ月前から1週間前必着。また、定数になり次第受付終了します。申込み用紙、誓約書に漏れなく記入捺印の上、参加料を添えて現金書留又は、軽 one 耐久事務局(サーキット窓口)までお早めにお持ちください。なお、FAXでのエントリー、ご入金でのお支払いは受け付けません。

エントリー用紙、リザルトにペンネームを使用することは可能ですが、誓約書には住民票の住所氏名を記入してください。

【7】参加受理

本大会の参加申込みに際しての受理は、本大会事務局が発行する正式受理書をもって、参加を受け付けたものとします。（正式受理書の発行は申し込み期間終了後、郵送にて発行されるものとします）

本大会事務局は参加申込みの個人又はチームに対して、理由を明かすことなく参加を拒否することが出来るものとします。

【8】中止延期・エントリー費の返金

主催が危険と判断した場合及び、様々な要因でタイムスケジュールに遅れがでた場合は、中止もしくは延期、タイムスケジュールの短縮を行う場合があります。尚、悪天候による中止・天災による施設使用が困難な場合の中止にかぎりエントリーフィーから¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却致します。エントリー受理後のキャンセルについては大会日から1週間前までは¥1,000（事務手数料）を差し引いて返却いたします。1週間で切ったからの参加者理由による返却は行いません。

【9】厳守事項

1. 全てにおいて、時間厳守とします。タイムスケジュールに遅れるチームは走行をお断りする場合があります。
やむを得ない事情等により、朝の受付時間に間に合わない場合は受付終了前に事務局までご連絡ください。
(連絡なき場合は出場を辞退したものとみなします)
2. ドライバーズミーティングは必ずドライバー全員が参加してください。
3. 参加ドライバー&チームは、チーム代表者を参加申込書に明記し、アナウンスによる呼び出し等が行われた場合は速やかに対応できる体制を取って下さい。
また、メインポストからのペナルティ等に対しても、チーム代表者は速やかに対応してください。
4. 大会規則の遵守 全ての参加者は大会規則書の熟読・理解し規則を遵守すること
(疑問のある場合はドライバーズブリーフィングで速やかに質問し、走行前に確認すること)

【10】ゼッケン

ゼッケンは主催者側で決定し、当日ゼッケンを配布します。

配布されたゼッケンを参加車輛のドア部左右（両ドア）に貼り付けてください。

ゼッケンは走行開始から終了まで、脱落することなく必ず保持してください。

【11】走行時服装規定

参加ドライバーはヘルメット（JIS規格C種以上が望ましい）及びレーシンググローブ（指先まで覆うもの）必須。また、レーシングスーツ・レーシングシューズが望ましいが、上下の繋がった長袖・長ズボンの服（作業ツナギ服等、なるべく燃えにくく丈夫な素材が望ましい）及び、運動靴での参加も可。

【12】学耐クラス 車両規定

1. 一般市販の自然吸気（NA）軽乗用車（普通車及び別車種のエンジン乗せ換え不可）
2. 駆動方式は自由とする。MT車・AT車どちらでも参加可。
3. エンジン、ミッション、CPU はノーマルのまま使用すること。
4. **機械式LSDの装着は不可とする。（車検時にジャッキアップにて確認を行います）**
5. 車両純正の燃料タンクを一切の改造を加えずそのまま使用すること
（燃料タンクの改造・安全タンク・コレクタータンクなど一切禁止。）
6. 一般のラジアルタイヤ（Sタイヤの使用は禁止）フェンダーよりはみ出さないこと。
7. フェンダーは爪折り、叩き出し、純正改までは可とし、
社外のオーバーフェンダー、プリスターフェンダーは不可とする。
8. 足回りの変更は自由とする。（別車輛の流用は可とする）
9. **運転席はフルバケットもしくはセミバケットシート、4点式以上のシートベルトは必須とする。
また、消火器を車内の手の届く範囲に確実に固定をすること。**
10. ブレーキとクラッチのリザーバータンク、バッテリーの＋ターミナルは確実にテーピングを行うこと
※バッテリーをドライバーと同じ室内に移動する場合、
バッテリーは金属製の留め金を使用し車体に確実に固定し、
箱型の金属製カバーをボルトにて取り付けること。
11. 衝突・横転などでドライバー及び乗員の安全を確保できる車輛であること。
運転席のドアは、内装含め純正・無改造のドアを使用すること。
ドライバーの安全保護の為、ロールバー及びサイドバーの装着を強く推奨します。
なおダッシュボードの取り外しは不可とする。
助手席及び後部座席のガラス、内装は加工自由とする。ただし、助手席及び後部座席のガラスを
変更する場合、アクリルもしくはポリカウインドウを装備すること。※フィルムの様な、薄く強度の無い物
は使用不可運転席はドアビームの取り外しも不可とする。
※オープンカーなどルーフ強度の無い車輛は、安全強度のあるロールバーを装備すること。
12. **マフラー（排気系全て）はその競技車輛の純正マフラーを使用する。**
吸気系の変更は可とする。
13. 前後に**牽引可能な牽引フックを確実に取り付け、矢印などで牽引場所を確実にわかる状態**にすること。
14. 油脂類（LLCクーラントも含む）の漏れ防止策及び、レベルゲージの漏れ防止策に講じること。
※コースイン前にオイル、水、燃料等の漏れ、白煙等が発見された場合、修復が完了するまで
コースインは一切認めません。
15. フロアマットなど、確実に固定されていないアクセサリ類は車室内及びトランクから排除すること。
16. ワイパー・ヘッドライト・テールランプ・ウインカー・ブレーキランプは正常に作動すること。
※ヘッドライトは片側のみの装着でも可とする。
17. ウインドネット（手作り不可）を取り付ける場合は、
ボルト等の金属製の物を用い確実に取り付けすること。
18. **室内エアダクトを設置する際、ボルト・リベット等を用いて確実に固定**すること。
簡易的な取り付け（テープ・インシュロック等での固定）は一切認めない。
19. 屋根の素材変更はFRPまで可とし、変更する際は安全強度のある4点式以上のロールバーの装着が必須。
20. **他車との接触時に脱落する恐れのあるエアロパーツ（スポイラー・カナード等）の取り付けは禁止とする。**

改造範囲は上記の車輛規定に抵触しない範囲で安全であれば自由とする。

【13】車検

当日、受付を完了させ車検準備が出来たチームは、車輛の駆動側をタイヤが浮く程度ジャッキアップさせボンネットを開けてヘルメットをひとつ車輛にのせて待機すること。車検が完了したチームからゼッケンを渡します。

【14】賞典

毎戦上位3チーム トロフィー+副賞 シリーズポイント上位3チーム トロフィー+副賞

【15】参加走行規定

1. 決勝グリッド

決勝のスターティンググリッドは、予選走行にて決定いたします。

2. 決勝スタート方式

スタート方法は、セーフティーカー先導によるローリングスタート。

ペースカーを先頭にフィーションラップを開始。

隊列が整ったところでセーフティーカーがピットイン。この時、前車輛との間隔を極力詰めること。

ブリジストンゲートで振る日章旗を合図にレーススタートとします。ペースカーがピットイン後も

スタートライン手前は追い越し禁止です。コースイン終了時までに整列できない車輛は

ピットスタートになりますので、オフィシャルの指示に従ってください。

※ピットスタートは、3分間のピットストップ後にスタート

3. 走行中の運転席窓は全閉

走行中は選手席の窓は全閉で、ドアロックは解除してください。

ただし、ウインドネット装着の場合は、窓を開けての走行を可とする。

4. ピットイン・ピットアウト

ピットイン・ピットアウトの際は必ず後続車に分かるようにウインカー等で合図すること。

急激な進路変更は大変危険です。

5. コースアウト

コースアウトなどにより本コースに復帰（オフィシャルの引き上げが必要）できない場合は、ハザードを点灯し車の中で待機すること。※車両火災時を除く

セーフティーカー介入後（場合によってはレッドフラッグにて走行中断）オフィシャルが迅速に

車輛引き上げに向かいます。オフィシャルが到着したら、ドライバーは速やかにオフィシャルの、

指示に従い車輛を本コースに復帰後、一旦パドックに戻り、オフィシャルによる

再検査（車輛点検）を受けた後、再スタートを切ることができます。

6. セーフティーカー先導ラップ

走行に支障をきたす事故・車輛回収がコース上で発生した場合は、

フラッグポストより黄旗とSCボードを提示しセーフティーカーを介入します。

セーフティーカーの介入時は追い越し禁止となります。

セーフティー介入前にピットに入っていた車輛は最後尾につくこととする。

また、セーフティーカーボード前を1度でも通過した車両は規制解除までピットインは不可とする。

7. ピットロード

ピットロード及びパドックはリバースギアの使用を禁止し、

ピットロード速度は20km/h以下を遵守しシートベルトは外さずに走行すること。

(バックする場合は、必ず手押しすること)

また、ドライバー交換等を含む決勝中のピット作業の際は、必ずエンジンを停止すること。

エンジンの押しがけ及び走行補助等の行為は禁止とする。

8. ドライバーチェンジ

同一ドライバーの連続走行時間に制限はありませんが、ドライバーチェンジの回数は10回以上とする。

なお、ドライバー交代場所でのピット作業は全て禁止とする。(エアチェックや冷却など)

もしピット作業をする場合は各自パドックで行うこと。その際のドライバー交代は不可とする。

9. タイヤ交換

練習中のタイヤ交換は自由とし、決勝中のタイヤ交換は禁止とする。

ただし、決勝中にバーストなど予期せぬ状態に限り交換は可とするがオフィシャル立ち合いのもと

4作業すること。**なお、タイヤ交換を行う場合はペナルティとして10分ピットストップとする。**

※無断での交換は追加ペナルティとなります。

【16】 決勝レース中の給油について

決勝中の給油は1回とし、給油量はチームごとの自由とする。

給油可能な時間は、決勝レース開始1時間後経過後～4時間経過後の間とする。

なお決勝中の燃料切れによるコース内での停止は10分ピットストップペナルティとし、

ペナルティストップ後に、ガソリンの給油を行い再スタートとなる。

※給油エリアでの滞在時間は最低4分間とする。

※指定時間外・指定場所外での給油は一切禁止とする。

(給油方法について)

- ① 給油エリアにてエンジンを停止後、チーム員の方が給油場所にあるストップウォッチを押し、停止時間の最低4分間の計測を開始する。
 - ② 計測開始後、給油エリアまで運転してきたドライバー及び再スタートドライバーを除く2名の給油担当作業員(1名は給油担当・1名は消化担当)により給油を開始する。
給油作業中、消火担当者は消火器を給油口に向け構えること。
 - ③ 作業終了後、規定の停止時間が終了した時点でエンジンを始動し、再スタートしてコースに復帰する。
その際、各自のピットエリアに戻っての作業は禁止とする。
- ※ また、給油エリアでの車両整備等(車両に触れての整備・調整)の行為は一切禁止とする。
- ※ 給油エリアまで運転してきたドライバー及び再スタートドライバーは給油に参加出来ないため、給油作業は他のドライバー又はピットクルーの2名で行うこと。
- ※ 給油時は肌の露出がない服装で、ヘルメットおよびグローブを着用すること。
- ※ 給油用の燃料はピットの指定場所で保管し、給油の際に給油エリアまでお持ちください。
安全に使用できるスチール製のガソリン携行缶のみ使用可能とする。
- ※ 給油エリアでのドライバーチェンジもドライバー交代回数に含める。

【17】計時・順位の認定

計時はサーキットの自動計測装置を用いて行う。耐久レース終了後は、先頭車両がスタートから規定走行時間経過後にスタートラインを通過しチェッカーフラッグが振られ、スタートラインを通過した車輛からレース終了となります。順位については終了時点の周回数により決定する。但し、同一周回数の場合は先にスタートラインを通過した順とする。

【18】レース成立・不成立

耐久レース中に著しい悪天候又はトラブルにより競技の続行が不可能と競技長が判断した時は下記の対処となります。

※競技時間の50%～成立とする。

また、レッドフラッグによって途中中断した場合で、再スタートする場合には計時を終了した時点の順位（レッドフラッグの提示前の周回）を再スタートの順位とする。

また、再スタート終了後、結果に中断前レースの周回数のみ加算し総合順位とする。

【19】完走

チェッカーフラッグを受けたものを完走として認める。

【20】クレームについて

様々なクレームに対しては、チーム代表者署名・捺印の入った文書のもと、チェッカー後20分以内にクレーム申請料¥30,000を添えて、事務局へ提出してください。尚、クレームが成立した場合は申請料¥30,000は返却致します。

※口頭でのクレームは一切受け付けません。

【21】諸注意

危険箇所への立ち入り禁止

コース内やクラッシュパッド上など、危険箇所への立ち入りを禁じます。

火気厳禁

パドック内は禁煙です。喫煙は喫煙所をお願いします。

小さなお子様やペット連れについて

小さなお子様をお連れの場合は目を離さず、手を繋ぐなどして目を離さないようにお願いします。

又、ペットをお連れの場合はリードを必ずお付け下さい。

サービスカーは1チームに対し1台のみパドック内に駐車可能です。

【22】ペナルティ

違反者に対し、黒旗と当該車輛のゼッケンがメインポストから提示される。

当該車輛はピットに戻り、オフィシャルの指示に従い、指定エリアに停止すること。

ペナルティストップの時間は、違反の軽重に基づき決定される。

【23】クラッシュ共済

当サーキットの施設等を破損してしまった場合、破損してしまった個人の全額負担とする。

そのための保険として任意でクラッシュ共済に加入することができる。

1口3,000円 最大6口まで加入可能。

1口あたり25,000円までガードレールやクラッシュパッドの交換費用を保障。

加入は当日の走行開始前までとし、チームでの加入のみとする。

加入希望チームは当日、受付時に代表者が別紙に記入。その場で提出し共済代を支払うこと。

【24】フラッグ（旗）・シグナルの説明

フラッグはサーキットを走る上で、重要なルールとなります。フラッグの意味を理解した上で、見落とし等のないように走行願います。本大会では、フラッグが通常の意味と異なる使用方法となりますのでご注意ください。

黄旗→危険箇所の発生あり。危険回避出来る状態で走行してください。

黄旗+S Cボード→ペースカーの介入。全車追い越し禁止 安全な速度で速やかに隊列の最後尾について下さい。

赤旗→走行中断。追い越し禁止・安全な速度でピットに戻り停止。

オフィシャルの指示がない限りコース上での停止を一切禁ずる。基本的に決勝中は使用しませんがやむを得ない場合（悪天候によるレース中断等）に限り使用します。

緑旗→先に出した合図の解除（コースクリア）

黒旗→ピットイン命令。

非スポーツマンシップ的行為や、人為的危険のあるペナルティの対象車輛に対してのピットイン命令。改善できる場合のみ、オフィシャルの指示に従いコースインできる。但し競技長の判断により、度重なる黒旗指示を受けた場合は失格とする。（同じ理由のペナルティを2度を受けた場合等）

日章旗→レーススタートの合図

チェッカーフラッグ→走行終了又は競技の終了。

【25】シリーズポイント

1位・・・15ポイント

2位・・・13ポイント

3位・・・12ポイント

4位・・・11ポイント

5位・・・10ポイント

6位・・・9ポイント

7位・・・8ポイント

8位・・・7ポイント

9位・・・6ポイント

10位・・・5ポイント

11位・・・4ポイント

12位・・・3ポイント

13位・・・2ポイント

14位以下・1ポイント

【26】ハンディキャップ

毎戦優勝チームには、ハンデとして次戦からのドライバー交代を1回追加とする。

ドライバー交代追加のハンデ年間を通して継続する事とする。

例：1戦目優勝の場合、2戦目～4戦目までのドライバー交代ハンデを1回追加。

例：シリーズ中2回目の優勝をした場合は、ドライバー交代ハンデは次戦より2回追加となる。

【軽one 耐久事務局から】

昨年も多くの方々のご参加、心から感謝いたします。

2020シリーズより軽One学耐シリーズが追加となりました。

マナー・ルールを守り安全第一で、学生の方同士楽しくレースをしましょう。

5時間耐久レースのため、走行音量の問題から吸排気系はノーマル限定とさせて頂いております。

また、通常の3時間よりも車両への負担もかかりますので、

油脂類やタイヤ・ブレーキパッドの残量等は十分に気をつけてご参加ください。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

軽one 耐久事務局